



- 東京メトロ東西線・日比谷線 「茅場町駅」6番・12番出口から徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線 「日本橋駅」D1番出口から徒歩5分
- 東京メトロ銀座線 「日本橋駅」C4番出口から徒歩8分

日本経済新聞育英奨学会

オフィシャルパンフレット2022



NIKKEI

日本経済新聞育英奨学会

日本経済新聞販売協同組合
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-7-5
日経茅場町第二別館 3階
フリーダイヤル(全国無料) ☎0120-00-5725
<http://www.nsn-tokyo.jp/ikuei/>

日本経済新聞社 東京本社

〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
TEL.03-3270-0251 (代)



twitter

更新中!!

@21syougakukai

#頑張れ日経奨学生 #部屋
#仕事の様子 #夢・目標

日経育英奨学会の ホームページにアクセス!!

奨学制度やNSNについての
Q&Aなどを掲載しています。
<http://www.nsn-tokyo.jp/ikuei/>
※スマートフォン・PCに対応しています。



パンフレットをPDFデータでも
ご覧いただけます。
スマホやタブレットで
外出先でも閲覧できます。



夢の扉を開く あなたの未来をアシスト！

「返済不要」の奨学金制度だから、将来まで安心です。

将来の夢へと踏み出すために、大学や専門学校に進学したい。

けれど、親に負担はかけたくない。

日経育英奨学制度(*1)は、そんな夢をもった若者たちの

学びたいという気持ちを後押しする制度です。

学ぶために、自分の力で働き、自ら道を切り開いていく。

そうした自立の精神は、若者たちの明るい未来へとつながっていきます。

日経育英奨学制度は、「返済不要の奨学金(*2)」、「集金業務なしで4週6休」

といった奨学生本位の待遇を用意しているので、安心して学業と仕事の両立が可能です。

今、夢の扉を開こうとしているあなたを、日経育英奨学制度がしっかりとアシストします。

選ぶなら日経 5つのポイント

在学中の生活費も卒業後の学費返済の心配もありません。

point 01 学費は**無利息**で借りることができ、
卒業時に返済免除*となります。

※学費の借り入れが免除額を超える場合は、卒業時に一括返済となります。 P3、4参照

point 03 **集金業務やセールスはなく、
休日は4週6休。**

プライベートも充実できます。

point 05 **就職活動をバックアップ。
セミナーの開催や就職推薦状の発行。**

P15、16参照

point 02 **完全個室を無料**で用意。
全室にエアコンまたはクーラー完備。

また全店(NSN)にシャワールーム・シャワートイレ完備。

point 04 東京地区で**一番奨学生が多く、
女子学生**もたくさん

在籍しています。

*1:日経育英奨学制度とは、日本経済新聞販売店(NSN:ニュースサービス日経)に住み込みながら、学業と新聞配達などの仕事を両立することにより、奨学金が支給される制度です。

*2:奨学金の返済に悩む若者たちが増えていることが社会問題になっています。「日経」の奨学金制度は限度内であれば全額返済不要なので、将来に不安を感じることはありません。詳しくはP3～4の「奨学金制度の仕組み」をお読みください。



CONTENTS

選ぶなら日経 5つのポイント	1
待遇と仕事	2
奨学金制度の仕組み／年間イベント	3
奨学生の生活[PART1]	5
奨学生の生活[PART2]	7
本気トーク	9
奨学生の先輩に聞く／表紙作成者 佐藤那美さん	11

説明会／見学&体験入店／	13
主な通学・実績校(東京地区)	
奨学金の比較	14
奨学生と就職／保護者の皆様へ	15
日本経済新聞と日経育英奨学会	17
奨学生ライフQ&A／所長からのメッセージ	19
入会の手続き	21

「集金なし、4週6休」でプライベートも充実！ だから先輩奨学生はNIKKEIを選んだ!!

学費や生活費に不安をもつことがないから、「学び」や「遊び」の時間も充実させられます。

先輩奨学生たちが「日経」を選んだ一番の決め手は、「集金業務なしで、4週6休」の制度があるから。これは、仕事だけでなく、勉強もプライベートも大切にしてほしいと考える日経育英奨学制度が一早く導入した待遇です。加えて、学費は全額貸与(限度内であれば全額返済不要)、給与は完全固定給ですから、学費にも生活費にも不安を感じることなく、「学び」や「遊び」も充実した自立ライフを実現できます。

首都圏の大学生の平均生活費(ある学生の事例)

支出	一人暮らしの場合 収入／親からの仕送り＋アルバイト	日経育英奨学生の場合 収入(給与)／133,800円(集金なし)
住居費	60,000円	0円
食費(朝・夕)	30,000円	①29,000円
昼食	15,000円	15,000円
水道光熱費	6,000円～12,000円	②3,000円～6,000円
電話代	5,000円～15,000円	③5,000円～15,000円
交友費	30,000円	30,000円
貯金・繰越し		④38,800円～51,800円
支出合計	146,000円～162,000円	133,800円

①食事は朝食と夕食を各NSNで用意。
※店舗により提供の有無、方法に差異があります。

②～④は個人によって消費差があります。

※水道光熱費は自己負担となります。他に所得税、国民健康保険料等は自己負担です。

※水道光熱費の額は店舗により多少異なります。

日経奨学生なら貯金もできて、
生活費も安くすみます。

日経育英奨学生は毎月の給与だけで十分に生活でき、
貯金することも可能です。

待遇

【給 与】 月 **133,800**円以上

【住 居】 全NSN完全個室、
部屋代は無料です。しかも、全NSN
にシャワールーム、シャワートイレ、全
室にエアコンまたはクーラーが完備され
ています。

※室内は
火気厳禁です。

【食 事】 朝食と夕食は各NSNで用意します。
食費は29,000円以内(1か月分・実
費精算)です。
※店舗により提供の有無、方法に
差異があります。

【休 日】 4週6休制が全NSNで実施されてい
ます。休みは授業のスケジュールなど
の都合に合わせてNSN内で調整して
決定します。

【昇 給】 年1回(4月)

【賞 与】 年2回、7月と12月に支給します。

【各種保険】
労災保険、日経専売所従業員厚生福祉会*
に全NSNが加入しています。

【定期健康診断】各店実施

健康的な奨学生生活を過ごすために、春と
秋に定期健康診断を実施します。



【有給休暇】

初年度は(入店6か月後)10日、2年目11日、
3年目12日、4年目14日となります。(労働
基準法準拠)

【カウンセリング】

仕事や生活上の悩みはNSNに相談してくだ
さい。

【その他】

①交通費

通学定期代が1か月5,000円以上の場合、差
額をNSNより補助します。ただし、補助額は
1か月5,000円を限度とします。

②服装

ユニフォーム、レインウェアを全奨学生に貸
与します。

※日本経済新聞社とNSNは専売所従業員のために共同事
業として日経専売所従業員厚生福祉会を運営しています。
事故やケガでの通院や入院した時など福利厚生全般にわ
たって保障されます。

※セールスの強制は一切ありません。

日経の奨学生に
集金業務はありま
せんが、特に希望
される方は、別途
手当てが支給され
ます。



仕事

【配 達】

主にバイク(一部自転車)を利用し、受け持ち区域の朝・夕刊を配達します。
1日の仕事時間は、朝夕刊と付随業務を合わせて5時間程度です。配達先輩が親切に指導します。日経は読者の入れ替わりが少ないため、配達の順路はすぐに覚えられます。(配達時間帯は地域によって異なる場合があります)

※配達で使用するバイク・自転車は、NSNで用意します。

※日本経済新聞および各種取り扱い紙の配達があります。

【付随業務】

①PR宣伝物の配布等 ②折込広告の組込作業等

学費は全額無利息で貸与！ しかも免除額内であれば 全額返済不要！

4年制コース

4年制大学生
4年制の専門・各種学校生

返済免除額
450万円

- 卒業までの学費貸与額が450万円までの場合、学費貸与額全額が奨学金として支給されます。(自己負担なし)
- 卒業までの学費貸与額が450万円を超えた場合、その差額を卒業時に一括返済していただきます。

特典

卒業までの学費貸与額が240万円未満の場合、240万円との差額を報奨金として支給します。

3年制コース

3年制の専門・各種学校生
大学2年生より入会する場合

※初年度は1年制コース、2年目以降は2年制コースを適用します。

返済免除額
320万円

- 卒業までの学費貸与額が320万円までの場合、学費貸与額全額が奨学金として支給されます。(自己負担なし)
- 卒業までの学費貸与額が320万円を超えた場合、その差額を卒業時に一括返済していただきます。

特典

卒業までの学費貸与額が180万円未満の場合、180万円との差額を報奨金として支給します。

2年制コース

2年制の専門・各種学校生
大学3年生より入会する場合

返済免除額
220万円

- 卒業までの学費貸与額が220万円までの場合、学費貸与額全額が奨学金として支給されます。(自己負担なし)
- 卒業までの学費貸与額が220万円を超えた場合、その差額を卒業時に一括返済していただきます。

特典

卒業までの学費貸与額が120万円未満の場合、120万円との差額を報奨金として支給します。

1年制コース

予備校生
1年制の専門・各種学校生
通信制大学生

独学生
(学費を借りないで
自分で勉強する場合)

返済免除額
100万円

- 卒業までの学費貸与額が100万円までの場合、学費貸与額全額が奨学金として支給されます。(自己負担なし)
- 卒業までの学費貸与額が100万円を超えた場合、その差額を卒業時に一括返済していただきます。

特典

卒業までの学費貸与額が60万円未満の場合、60万円との差額を報奨金として支給します。

1年間に在籍した場合
報奨金 **60万円**

- 学費を借りない場合、1年修了時に60万円を支給します。

途中退会の場合

途中退会の場合、登録した各コースの在籍年数に応じて、下記の奨学金の返済を免除します。免除額を超えた金額は、退会時に全額一括返済していただきます。
※奨学期間は4月1日～翌年3月末日までを1年とし、奨学金が支給されます。

1年未満で退会の場合	免除額 0万円
満1年以上在籍して退会の場合	免除額 60万円
満2年以上在籍して退会の場合	免除額 120万円
満3年以上在籍して退会の場合	免除額 180万円

2年制以上の学校に入学し、 継続して在籍する場合

入学祝金 **10万円** 進呈

予備校生、独学生、1年制の専門・各種学校生がNSNで1年在籍し、他の2年制以上の学校に入学し、引き続き育英奨学生(4年制・3年制・2年制)として継続在籍する場合は、奨学金に加え入学祝金10万円を進呈します。

充実したイベントがあります。

日経奨学会では、同じ志を持った仲間たちと交流できる場を設けています。学校でできる友人だけでなく日経育英奨学会の仲間や先輩、「日経」の仲間たちとの絆を深めてください。皆さんの今後の人生にとって貴重な出会いとなるはずです。
※情勢により実施の有無や形式が変更となることがあります。

4月

入会式

「自立生活」の初めの一歩！ この入会式から奨学生としての新生活がスタートします。日経本社や日経育英奨学会、さらに先輩奨学生からの激励メッセージを受けて、一人ひとりが初心を忘れずに、それぞれのNSNで卒業までがんばりぬくことを誓い合います。

2月

修了式・祝賀パーティー

学業と仕事の両立を果たし、この日を迎えた学生さんたちの努力をたたえ、毎年盛大に開催されます。修了式では初志を貫徹した奨学生のみなさんに修了証と記念品が贈呈されます。

就職セミナー

11月～3月

日経奨学会はみなさんの就職活動を強力にバックアップしています！奨学生のみなさんが日々配達している日本経済新聞。その発行本社である日本経済新聞社全面協力のもと、志望企業への内定を目指して、エントリーシートの作成から各種選考の対策まで徹底指導しており、その個に応じた指導は毎年好評を頂いています。
※実施月は2020～2021年実績です。



夜間(2部)の学生也大歓迎。 専売所配慮で好都合。

夕刊配達時間帯の早い地域(会社、官庁街など)には午後2時～2時30分頃配達開始)への入店が可能。
夜間(2部)の学生は夕刊配達後の通学となります。
※待遇は昼間部と同様です。



高校まで熱中した野球と 新聞奨学生で培った 忍耐力と継続力が強みです。

佐野 嘉紀さん

さの よしき (NSN 浜町)

千葉商科大学 商経学部 商学科
静岡県 富士宮北高等学校出身



佐野さんのある1日



松本所長とは野球の話で盛り上がります！

1、2カ月を乗り切れば、 仕事を自分のものにできる！

僕は小学校から高校まで野球一筋！

毎日の厳しい練習にも耐えてこれたという自負があったんです。だから、母から経済的な事情を考えて新聞奨学生の制度を勧められた時も、正直それほど不安はなかった。朝練で慣れていたから早起きも苦手ではないし、仕事先の上下関係も心配していませんでした。

とはいえ、実際に新聞配達の仕事を始めると、初めは戸惑うこともありました。配達先ごとに「チラシは不要」「ポストではないところに新聞を置いてほしい」といった要望があり、覚えるのに四苦八苦。それに僕が新聞の配達を担当することになったのは、日本橋の浜町。ビルが並ぶオフィス街です。どのビルも同じ顔に見えて道を覚えるのに苦労しました。でも、毎日配達を続けているとあの角にコンビニがあって、この角には警察署がある、というように目印を覚えられてスムーズに回れるようになりました。今では、配達中の僕の姿を見て道

を尋ねてもらえる人にも、しっかりと道案内できるほど。配達区域の地理はすっかりマスターしました。大変なのは最初の1、2カ月。ここを乗り切れば、仕事にも生活にも慣れて自分のペースができてくるものです。

新聞配達の仕事を通して、 時間やお金のやりくりが上手に

学業と仕事の両立が大変と思う時もあるけれど、僕の場合は祖父母が応援してくれたのも、力になりました。住み込みの仕事の経験がある祖父は大変だからと帰省ごとに励ましてくれます。祖母には、雨の日は新聞が濡れるから大変という話をしたら、雨の日は「今ごろ新聞を配っているんだろうな」と、僕のことを思い出してくれているそうです。そんな風にいつも応援してくれる家族がいるから、学業も仕事もどちらも頑張らなきゃと思います。

早いもので、新聞奨学生を初めて3年が経ちました。高校生まで野球ばかりしてきたので視野を広げたいという希望があった

のですが、僕が今通っている千葉商科大学の商学科は、商学だけでなく経営や経済についても広く学べる点が魅力です。そして何より、大学生になってよかったのは、なんでも話せるような友人が作れたこと。4週間に6日間休日があるので、時間とお金をやりくりしたら大学生活をしっかりと楽しむことができます。地元に住んでいる時よりも交通の便が良いので大好きなプロ野球観戦もよく行くようになったし、大学から友人たちと一緒に始めたスノボも随分上達したんですよ(笑)。

もうすぐ就職活動が始まります。人と接することが好きなので、営業のほか、企画や広報などの仕事ができればいいと思っています。ITやスポーツ、食品に加えて、実家がふとん屋なので寝具メーカーにも興味があり、そうした業界の研究を始めていきたいと思っています。どんな企業に入るにしても、野球と新聞配達をやり切ったことで、忍耐力と継続力には自信があります。それは、就職活動でも、きっと強みになるし、アピールしたいですね。



奨学生仲間の佐野真大さん
(東京映画・俳優&放送芸術専門学校)と





仕事にも慣れた今
憧れの東京での生活を
100%満喫しています！

姫野 花菜子さん
ひめの かなこ (NSN 二子玉川)
駒澤大学 文学部 英米文学科
新潟県 新潟江南高等学校出身



姫野さんのある1日



奨学生仲間の 左：岩崎茜さん（国立音楽院）、
右：グエン・ティ・リン・チャンさん（TOPA21世紀語学校）と

専売所の仲間の温かさが 仕事をする上でのパワーに

故郷の新潟を離れて、都会で生活してみたい！そんな気持ちが強くて、新聞奨学生になろうと自分で決めました。両親からは、「やるなら中途半端でやめないように」と言われていたので、絶対に途中で投げ出さないという気持ちでスタートしました。

入店して最初に感じたのは、専売所の雰囲気がとてもいいこと。社員や学生を問わず、みんなの仲が良く、いつもワイワイしています。先輩が優しく丁寧に教えてくれて、仕事を覚えるのにも苦労はあまりなかったです。新聞配達をしていると、時には不着などのミスもあり、新聞読者の方からお叱りを受けることもあります。やっぱり、失敗をすると気分が沈みます。そんな時、同期や先輩が話を聞いてくれるだけでも安心するので、恵まれた環境に助けられていますね。それに一度失敗したら、私が配る新聞を待っている方がいるのだから「二度としない！」と逆に力が湧いてくるので、責任感も芽生えた気がします。

専売所にもすぐに馴染むことができたので、自分では仕事が辛いと思ったことはありませんでした。でも、両親は自分でも気づかなかった私の微妙な変化に気づいたようです。仕事を始めたばかりの頃は慣れない生活への不安が、電話を通して伝わっていたのかもしれませんが、後になって母に聞いたところでは、始めた頃の頃は本当に心配だったのだとか。

仕事、学業、遊び どれも全力で楽しみたい！

今思うと変化したのは、梅雨明けぐらいから。毎日のように雨がが続くと、どうしても配達時にブルーになります。でも、梅雨が明けると、気持ちまで晴れやかになりました。それには、東京での生活がどんどん魅力的に思えてきたのもあると思います。私、喫茶店巡りが好きで、特に好きな自由が丘や三軒茶屋といった街を散策しながら、お気に入りのお店を探すのが楽しいし、好きなバンドやアイドルのライブに行くにも便利。都会暮らしが心から楽しいと思え

るようになってくると、仕事にも張り合いがもてました。すると、電話の声もイキイキするようで、家族からも「最近、楽しそうだね」「がんばっているね」と言われることが増えました。一緒に暮らしていた時には親に反抗することもありましたが、今は遠くにいても私のことをよく見てくれている家族にとっても感謝しています。

大学では、英米文学を専攻していますが、せっかく外国語を学ぶなら卒業するまでに何か形にしたいと、今は英語検定と中国語検定の資格の勉強中です。そのために、夕刊配達後の2時間は勉強時間と自分の中でルールを決めています。まだ漠然とはありますが、将来は語学を生かして東京で働いてみたいという気持ちが強いですね。今年から英米文学のゼミも始まります。差別やジェンダーについて英米文学を通して学ぶのがとても待ち遠しい！ 仕事と学業、それに休みの日には好きなことを楽しむ時間。メリハリをつけて、どれも100%の力で打ち込みたいと思っている今、毎日がとても充実しています。





新聞奨学生を経験して培われた 自立心や時間管理能力が将来に生きる！

自立した学生生活を送るために

上村 新聞奨学生になったのは、声優アーティストになるという夢を叶えるため。学費で悩んでいた時に、今通っている代々木アニメーション学院の方からこの制度を教えてもらったんだ。

芹澤 正直言うと僕は最初、新聞配達に興味はないし、乗り気じゃなかった。でも、妹もいるし、両親に負担はかけられない。それで思い切って新聞奨学生になろうと。

野口 私も両親に負担をかけたくなかったから。地元で進学するか就職するか迷っていたんだけど、高校の先生から「新聞奨学生という制度があるよ」って聞いたの。地方から出て大学に通えば、もっと将来の選択肢が広がると思って、決心したんだ。

田中 高校生の時に両親と話していて「一人暮らしをして、なるべく自分の力で生きて欲しい」と言われた時に、「こういうのがある」と父が教えてくれたのがきっかけ。仕事しながら大学に通うというのは簡単な生活ではないけど、4年間やりきったら達成感もすごいんじゃないかと思った。

上村 新聞奨学生になろうと決めたはいいけど、最初は不安だったな。ネットで調べ

ると、とにかく大変という経験者のコメントがいっぱいだから。そんな気持ちを切り替えてくれたのがギター。これから新聞奨学生を目指す人は、何か気持ちをリセットできるものを見つけておくといいかも。

田中 辛口コメントが多いからね。でも、色々なサイトを見てみたら、だいたい同じことが書いてあった。例えば、ゼミやクラブをやるのが難しいとか。それ以外の楽しみを見つけようと思ったし、授業も午後に取りづらいつつということなら全力で前半に授業を入れよう。不安要素をなくす方向に頭を切り替えた。その結果、ゼミやクラブには入らなくても、友達は普通にできたし、友達と旅行にも行けた。だから、工夫次第で余裕のある生活が送れると思う。

芹澤 僕は最初からそういう情報はシャットアウト（笑）。やると決めたから、余計なことは考えずにやるだけだよ。

野口 私もやっぱりネット情報を読むたび心配になった。けど、実際動き始めると、周りはみんないい人。仕事面はもちろん、人生の悩みにもまでもってくれる先輩に出会えて、私はすごくよかったと思う。

親への感謝の気持ちも芽生えた

上村 最初は配達の道を覚えらえるか不安もあったけど、先輩から最初に順路を教えてもらう時に、例えば「このお宅は留守がちだから新聞が溜まりやすい」といった情報も話してくれたので、ここではこんな話をしたなというように順路をストーリーにしていくと比較的早く覚えられた。

芹澤 僕は自転車に乗るのが好きなので、バイクで配達する前に何度か、専売所で借りた自転車でゆっくりと走ってみたな。やっぱり繰り返すうちに覚えられるよね。

田中 新聞奨学生なら、誰もが一度は感じると思うけど、梅雨シーズンで雨が続くと気持ちが沈むんだよね。僕は外に出られない日にラジオを聞いたり、本を読むようにしたり、雨が嫌じゃなくなる習慣をつけたら、配達も苦にならなくなった。去年の収穫は、オードリーの若林さんのエッセイ。面白いから、ぜひ読んでみて（笑）。

上村 新聞奨学生あるあるといえば、「時間がない」。でもそれは考え次第。最初は、夕刊配達のために帰る時、同級生のみんなはまだ学校で練習をしていると思うと周りとの時間の差が辛かった。でも、専売所に

自立した学生生活を送り、将来の目標に向けて打ち込もうと、新聞奨学生の道を選んだ現役日経奨学生の4人の先輩たち。NSNでの仕事や生活の様子、学校生活、さらに将来のことまで、同じ経験をしている奨学生同士ならではの本音のトークを展開してくれました。

同じ学校の先輩がいて、練習に悩んでいると台詞を練習するのを聞いてアドバイスをしてくれることもある。そんな新聞奨学生の特権があるから、時間がないことを理由にはしたくないと思うようになった。

芹澤 確かにピアノの練習の時間がとれなくて、苦勞することもあるけれど、やっぱりお客様の「ありがとう」という感謝の言葉と笑顔には癒される。配達してよかったなと思うんだよね。

野口 そうそう、嬉しいこともたくさんあるよね。新聞を入れ忘れて怒られて当然だと思っていたのに、逆に「いつもありがとう」と感謝していただい時は励まされたな。

田中 僕は、配達中に読者の方の家の犬と仲良くなって、秘密の友情を育むのもひそかな楽しみなんだ（笑）。

上村 それわかる！ 私も毎日会うのが楽しみな犬がいる。

野口 今まで3年間奨学生をしてきたけど、実家で暮らしていた高校生の頃までは、親に甘えていたなと思う。寮生活になって料理を初めて作った時に写真を送ったら「がんばったね」って。なんか少し成長できたのかなってうれしかったんだ。

芹澤 そういえば僕が肉じゃがを作って食

べたって母に言ったら、帰省した時に作ってくれと言われて。まあ、褒めてはくれたよ。顔は引きつっていたけど（笑）。

田中 僕はピーマンの肉詰めを作った！料理も、皿洗いも洗濯も大変だったんだなと親への感謝の思いも芽生えるよね。

上村 私もお母さんに任せっきりだったと、自分で身の回りのことをやってみて気づいた。

時間管理能力を将来に活かす！

田中 そうして身の回りのことを全部しながら仕事に勉強に励むうちに、タイムマネジメントがすごく上手になるんだよね。一度使える時間を目に見えるように表を書いたんだけど、それで通学などの隙間時間を勉強に当てたりと時間管理能力がすごく高まったからおすすめ。これから就職活動が始まるけれど、僕はどんな業界にいても全力で打ち込めるような仕事に就きたいと思っているので、新聞奨学生での経験を活かせるよう頑張るつもり。

野口 私も1日のやることリストを作るようにしたら、時間を無駄にしないようになった。今、エンジニアになる夢のために

プログラミングの勉強をしていて、「ITパスポート」という国家資格の勉強をする時間もしっかりと作ってるよ。

芹澤 僕は今、音楽の学校に通っているけれど、実は商品パッケージのデザイナーにも興味があるんだ。今の学校を卒業したら、専門学校に行って学び直すことも考えているけれど…現在の学校の先生から音楽やピアノの教師への道も勧められて、そういう選択肢もあるのかなと検討中。いずれの道に進むとしても、今はピアノ実技と楽典の勉強に全力で取り組みたいと思う。

上村 声優アーティストになるには、日々の生活すべてが役立つんだ。何かを見聞きした時に、自分の感情がどう動いて、どう表現するのかを大切にしたいから。だから、仕事する時も遊ぶ時も感動する心を忘れないで、残りの奨学生生活を過ごしたいな。



奨学生の先輩に聞く

将来を見据えて、仕事と学業の両立に励む先輩たち。「なぜ新聞奨学生に?」「日経を選んだポイントは?」…など、気になる5つの質問に答えてもらいました。

- ①出身高等学校 ②新聞奨学生になった理由
- ③日経を選んだポイント ④日経に決めてよかったこと
- ⑤将来の夢・目標

NSN 浜町 田丸 紫陽さん

代々木アニメーション学院
エンタメ学部 声優タレント科

- ①埼玉県 東京農業大学第三高等学校
- ②中高一貫で進学し、浪人して予備校に通わせてもらうなど、これまで両親に負担をかけてきたので、今度は自分の力で将来を切り開きたかった。
- ③専門学校の方から勧められて調べてみると、他社の新聞奨学生よりも時間が自由に使えると思った。
- ④集金業務がないので配達に慣れると時間に余裕ができて、学業や趣味に時間が取れる。
- ⑤声優



NSN 練馬 奥蘭 星翔さん

代々木アニメーション学院
エンタメ学部 声優タレント科

- ①鹿児島県 明桜館高等学校
- ②学費面で進学に悩んでいた時に高校の先生から新聞奨学生制度があることを聞いて、よいと思ったから。
- ③他の新聞社と比べた時に、一番自分に合っていると思った。
- ④配達中は時間を常に気にしているので、普段の生活でも時間を意識して生活するようになった。
- ⑤声優



NSN 西麻布 橋爪 優弥さん

代々木アニメーション学院
エンタメ学部 声優タレント科

- ①長野県 伊那弥生ヶ丘高等学校
- ②学校に通うための経済的な余裕がなかったから。
- ③進学先の代々木アニメーション学院の方から勧められたから。また待遇がよいと思ったから。
- ④最初は不安だったが、専売所の先輩が優しくしてくれたので嬉しかった。集金の業務がないため、自由な時間を作ることができ、自分のやりたいことにも集中できる。
- ⑤輝ける声優。



NSN 本郷 御茶ノ水

川原 彩さん

かわはら あや

専修大学
商学部 マーケティング学科

- ①岩手県 北上翔南高等学校
- ②兄が新聞奨学生として働きながら大学に通っていたため、私も兄のように地元から離れて自立したいと思っていたから。
- ③兄の影響。女子学生が多く、集金業務がないのが主な理由。また、日経は質の高い新聞読者が多そうだから。
- ④働く時間が決まっているので、1日を無駄にせずに上手に使えるようになった。
- ⑤アパレル業界で働くこと。



NSN 浜町 近山 赦吾さん

二松学舎大学
国際政治経済学部 国際経営学科

- ①新潟県 巻総合高等学校
- ②自立し、両親の経済的負担を減らしたかったから。
- ③いくつかの新聞社のパンフレットを比較して、待遇が良いと思ったから。
- ④精神的にも経済的にも自立でき、視野が広がった。また自分でやりたいと思うことを自分のお金をやりくりしながらできる経済観念も身についた。
- ⑤自分の力が活かせる仕事に就きたい。



NSN 西麻布 谷本 碧海さん

代々木アニメーション学院
アニメ学部 アニメーター科

- ①広島県 広島商船高等専門学校
- ②アニメーターになりたいくて、その専門知識を学べる専門学校への進学を目指していた。新聞奨学生のパンフレットで、生活費も学費も自分で工面できると知ったから。
- ③進学する専門学校の方に勧められたから。
- ④集金業務がないので、学校の課題や好きなことに充てる時間がある。新聞奨学生になるために上京したことで多くの人と出会い、世界が広がった。
- ⑤原画担当としてエンドロールに載ること。



NSN 高輪 河原 祐司さん

代々木アニメーション学院
エンタメ学部 声優タレント科

- ①福井県 若狭東高等学校
- ②三人兄弟で、両親に経済的な面で多くの負担をかけてきた。夢を叶えるために必要な学費を自分で稼いで、親の負担を減らしたかった。
- ③日経の新聞奨学制度は集金業務がなく、休日も4週6休など、自分の夢のための時間がもてる点が魅力だった。
- ④自分と同じ夢をもっている多くの人と出会えた。仕事中に読者の方に感謝されることが多いのでやりがいがある。
- ⑤多くの人に笑顔と希望を与えられる声優。



新聞奨学生として過ごした日々を表現の強みにしたい

本誌2022年度のパンフレットを飾る「イラストコンテスト」のグランプリに輝いたのは、新聞奨学生の日常を鮮やかに描いた佐藤那美さん。一度は社会に出て調理師として働いていたが、絵のプロを目指して代々木アニメーション学院への入学を決めたという佐藤さんに、本作品に込められた思いや、新聞奨学生の生活、さらには将来の目標についても語っていただきました。

グランプリ

佐藤 那美さん

さとう なみ (NSN 錦糸町・平井)
代々木アニメーション学院
アニメ学部 アニメ背景美術科
岩手県 一関第二高等学校出身



楽しみながら仕事しているのでその気持ちを絵で伝えたかった

—— グランプリ受賞おめでとうござい
す。率直な感想をお聞かせください。

これまでSNSで作品をアップすることはありましたが、コンテストとは縁がなかったため、人の目に触れるところに受賞作を発表できるのがとてもうれしいです。
—— 受賞については誰かに伝えましたか。

家族に報告したら、とても喜んでくれました。私は高校卒業後、調理師の専門学校に進学し、調理師として働いていたんです。その時に絵を描く仕事がしたくなって代々木アニメーション学院で学び直そうと考えました。そんな私をいつも温かく見守ってくれている家族に、目に見える形で恩返しできたのかなと思います。

—— 今回のタイトルは「新聞奨学生が楽しく新聞を配っている様子」というものですが、どんな風に制作されたのでしょうか。

普段、仕事をしている時にも、例えば時間を決めてタイムアタックのようにゲーム感覚で新聞を配ってみるなど、楽しみながら仕事をしようと心がけています。だから、自分のそんな日常を絵にしようと考えたら、すぐに構想が頭に浮かびました。ちょうど就職活動を終えて、時間的な余裕があった時期だったので、休日を使って半月ほどかけて作品を仕上げました。

—— ご自身では、どのような点が評価され

たのだと感じていますか。

私は絵を描くときには、いつも伝わりやすさを大切にしています。だから、今回のテーマである楽しく新聞配達をしている様子が伝わったのだとしたら光栄だなと思います。

アニメの美術監督として活躍するのが卒業後の目標

—— 新聞配達の仕事をつらいと思われたことはありませんでしたか。

午前中の授業中、起きるのがつらいと感じることはありました。でも、社会人経験もあるからか、仕事自体がつらいと感じたことはほとんどなかったです。学業と仕事を両立するのは大変とはいえ、絵を描くという好きなことを学んでいるので、続けられたというのもあるかもしれません。

新聞奨学生をしていると、仕事も学校の課題も、目の前のことを確実にやっていくことに必死なんです。そんな中で自分のやりたいことがあればそのための時間を工夫して作るようになります。時間管理が自然にうまくなったので、得たものも大きかったと思います。

—— 卒業まであと2カ月。それまでにやりたいことはありますか。

今、学友でもあり、同じ専売所で働く仲間でもある友人と、アニメーションの作品を自主的に制作しているんです。コロナの

影響で卒業制作が中止になったので、彼女と学生生活の記念に何か形に残したいねと話したのがきっかけです。友人はアニメのキャラクターを描き、私は背景を担当。この作品をふたりで力を合わせて完成させるのが目下の目標です。彼女はアニメーターの会社に就職が決まり、私はアニメの背景専門の会社に就職するので、いつかプロとしても二人で作品に関わることができたらいいなと夢を語り合っています。

—— いよいよ4月から表現者としての生活が始まりますね。調理師として働いた経験や、新聞奨学生として働いた経験がどんな風に生きてくるとと思いますか。

直接的に現れることはないかもしれませんが、経験が絵から滲み出るものだと思います。自分が経験してきたことしか描けないと思っているので、多くの人が経験をしたことがない新聞奨学生の経験も、今後の私の強みにしていきたいですね。

—— 最後に、アニメの世界でどのように活躍していきたいか、夢を聞かせてください。

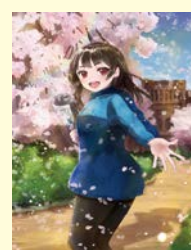
卒業後に就職するのは、アニメーションの中でも自然や住宅街、ビル群など作品の背景を専門に描く会社。まずは、その技術をしっかりと身に付けて、いつかは1つの作品の背景全てを統括し、作品の世界観を作り上げる美術監督になるというのが目標です。



準グランプリ

阪本 薫さん

(さかもと かおる)
NSN 両国
代々木アニメーション学院
クリエイター学部 イラスト科
和歌山県 神島高等学校出身



準グランプリ

西村 涼さん

(にしむら りょう)
NSN 高輪
代々木アニメーション学院
アニメ学部 アニメーター科
北海道 札幌稲雲高等学校出身



このオフィシャルパンフレットを読んだら… WEB説明会に参加しよう!!

自宅からスマホ1つで参加できます。

新聞奨学制度や生活等の詳しい説明を聞いて
疑問を解決してください。

新聞奨学制度の詳細や奨学生の具体的な生活について、映像を見ながら説明します。あらゆる質問にお答えしますので、お気軽にご出席ください。

随時、日経育英奨学会のホームページに
日程をアップしますのでご確認ください。

☎0120-00-5725 または
日経育英奨学会のホームページ
<http://www.nsn-tokyo.jp/ikuei/>
での事前予約が必要です。

予約の際に、①参加希望日②名前③住所④連絡先
等をお知らせください。

(注意)事前予約は締切を設けています。ご了承ください。

※説明会は東京地区周辺の大学、専門学校などに進学する人が対象です。
※右のQRコードからも予約ができます。



日経育英奨学生の主な通学・実績校(東京地区)

- 年度により受付できない場合があります。
- 学校、学部、学科(コース)によっては、受付できない場合があります。詳しくは奨学会にお問い合わせください。
- 学校によっては、定員になり次第、締め切る場合があります。

- 掲載のない学校でも受付ができる場合がありますので、奨学会にお問い合わせください。
- 業務の都合上、教職課程の履修や長期間の研修への参加は基本的にできませんが相談に応じます。

4年制大学

青山学院大学
亜細亜大学
跡見学園女子大学(文京キャンパス)
嘉悦大学
学習院大学
神奈川大学(横浜キャンパス)
共立女子大学
慶應義塾大学
工学院大学(夜間)
国学院大学
国士館大学
駒澤女子大学
駒澤大学
サイバー大学
淑徳大学
上智大学
聖学院大学
成蹊大学
成城大学
専修大学
大正大学
高千穂大学
拓殖大学
千葉商科大学
中央大学
鶴見大学
帝京大学
デジタルハリウッド大学
東京経済大学
東京電機大学(夜間)
東京富士大学

東京理科大学(夜間)
東洋学園大学
東洋大学
二松学舎大学
日本女子大学
日本大学
ビジネス・ブレークスルー大学
文京学院大学
文教大学
法政大学(市ヶ谷キャンパス)
武蔵大学
武蔵野大学
明海大学(浦安キャンパス)
明治学院大学
明治大学
明星大学
目白大学
横浜商科大学
立教大学
立正大学(品川キャンパス)
流通経済大学(新松戸キャンパス)
早稲田大学(早稲田キャンパス)
和洋女子大学

専門・各種学校

青山製図専門学校(夜間)
アミューズメントメディア総合学院
アン・ミュージック・スクール
amps
ESPエンタテインメント東京
ESPギタークラフトアカデミー
ESP/ミュージシャンズ・インスティテュート東京

大川カイトプラクティク専門学校
大原法律専門学校
音響芸術専門学校(夜間)
関東鍼灸専門学校
北豊島医療専門学校
国立音楽院
呉竹鍼灸柔整専門学校
グレッグ外語専門学校
国際製菓専門学校(夜間)
さいたま柔整専門学校(夜間)
JTB NEXT CREATION
渋谷外語学院
秀林外語専門学校
新宿医療専門学校
新宿調理師専門学校(夜間)
新東京歯科技工士学校(夜間)
TES東京英語専門学校
東京国際ビジネスカレッジ
東京製菓学校(夜間)
東京調理製菓専門学校(夜間)
東京テクニカルカレッジ
東京デザイナー学院
東京デザインテクノロジーセンター専門学校
東京モード学園(夜間)
東放学園映画専門学校
東放学園音響専門学校
東放学園専門学校
東洋カイトプラクティク専門学校
東洋美術学校(夜間)

トライアード音楽学院
日米会話学院
日中学院
日本外国語専門学校
日本健康医療専門学校
日本工学院専門学校(蒲田校)
日本指圧専門学校
日本写真芸術専門学校(夜間)
日本柔道整復専門学校
日本鍼灸理療専門学校
日本総合医療専門学校
日本デザイナー学院(夜間)
日本電子専門学校
日本ナレーション演技研究所
日本福祉教育専門学校(夜間)
日本ペット&アニマル専門学校
日本マンガ塾
俳協ボイス
服部学園服部栄養専門学校(夜間)
ハリウッド美容専門学校(夜間)
ヒューマンアカデミー
文化服装学院(夜間)
ミュージック音楽院
山野美容専門学校(夜間)
読売自動車大学校
読売理工医療福祉専門学校
代々木アニメーション学院
LEC東京リーガルマインド
早稲田外語専門学校
ワタナベエンターテインメントカレッジ
ワタナベコマディスクール

予備校

河合塾
城南予備校
駿台予備学校
Z会
体育進学センター
武田塾
中央ゼミナール
東京アカデミー
東進ハイスクール
トフルゼミナール
一橋学院
※四谷学院
四谷ゼミナール
代々木ゼミナール
早稲田ゼミナール
早稲田予備校

※印は学費が一部免除の予備校です。

留学関連機関

NIC International College in Japan

その他

通信制の大学

「日経」の奨学金制度なら、卒業後の返済は不要！

日経育英奨学会の奨学金制度と、国の奨学金・教育ローンを比較したのが下の表です。

日本学生支援機構(国の奨学金)は卒業してから20年間も返済し続けなければならない、国の教育ローンは借り入れた翌月から返済が始まります。

「日経」の奨学金制度なら学費は全額貸与、しかも限度内で
あれば返済不要のため、在学中はもちろん、
卒業後の経済的な不安もまったく感じることはありません。



日経育英奨学会と日本学生支援機構・国の教育ローンとの比較

	入学前 18歳	大学生					社会人			
		入学 18歳	在学中 19歳	在学中 20歳	在学中 21歳	卒業 22歳	卒業から半年後 23歳	卒業から10年後 32歳	卒業から15年後 37歳	卒業から20年後 42歳
日経育英奨学会	奨学金 借入	学生生活＆新聞配達					日経育英奨学会なら 卒業後の返済なし			
日本学生 支援機構 (国の奨学金)	入学後 奨学金 支給開始	学生生活＆アルバイト＆ 毎月10万円(45か月間)の借入					月賦返済 開始 月19,286円返済 (累計19,286円)	120回目 の返済 月19,286円返済 (累計2,314,320円)	180回目 の返済 月19,286円返済 (累計3,471,480円)	240回目 の返済 月19,589円返済※1 (累計4,628,943円) 返済終了
国の教育ローン	借入金	学生生活＆借入した翌月より返済開始 ①返済 月額11,000円					月32,000円 返済	①28歳 ②29歳 ③30歳 (累計3,802,000円) 返済終了		
		借入金	①+②返済	月額21,500円						
			借入金	①+②+③返済 月額32,000円						

	借入パターン	借入額	月々返済額	返済年数	返済総額
日経育英奨学会	無利息・住み込み・ 必要時に学費借入れ	4,500,000円	なし※2		
日本学生支援機構	第2種(有利子)・自宅から通学・ 月々100,000円の借入	4,500,000円	19,286円	20年	4,628,943円 ※3
国の教育ローン	有利子・自宅から通学・1年目120万 2・3年目115万(上限350万)の借入	3,500,000円 ①1年目120万 ②2・3年目115万	32,000円 ①11,000円 ②10,500円 ③10,500円	10年	3,802,000円 ※4

※1月賦返還で、最終的に利息を含めた端数を調整した場合。

※2奨学期間を満了した場合。途中退店の場合は返済が必要となります。

※3利率固定方式、利息0.27%、20年返済、卒業より7か月経過後より返済開始する場合の目安となります。

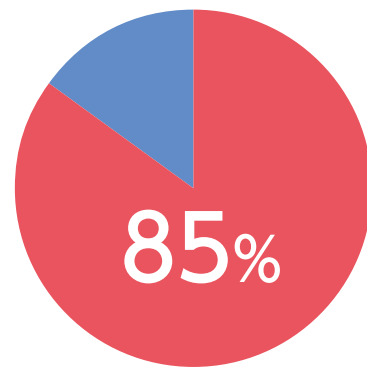
※4利率固定方式、利息1.68%、10年返済の場合の目安となります。また、返済総額には初回または最終回に支払う利息の一部は含めておりません。

日経育英奨学会はみなさんの「就職」も強力にサポートします。

日経の奨学生は就業意識が高く、勤勉であることは日々の仕事を通じて実証済みです。しかし、勉強と仕事を両立させながら、限られた時間内で就職活動（就活）に関する知識や情報を入手して、就活もしなければならないことに不安を感じることもあるかもしれません。そこで、日経奨学会ではみなさんの就活と就職を強力にサポートする体制を備えています。

2021年3月卒業予定の大学生 (4年制コース) 就職率

※就職率=4年制コース登録大学生のうち、就職決定者/就職希望者数となります。
※2021年2月末日時点の数字となります。



日本経済新聞社主催 奨学生限定就職サポートセミナー

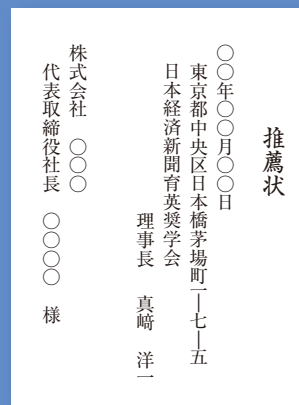
夢の実現のため日本経済新聞社が強力にバックアップします！

奨学生の皆さんが日々配達している日本経済新聞。その発行元である日本経済新聞社も奨学生の皆さんの就職を強力にバックアップしています。日本経済新聞社は大学生向けの就職サポートセミナーを全国で実施しており、毎年10,000人が受講し、多くの内定者を輩出してきました。このノウハウを最大限に活かし、マンツーマンで就職活動を支援します。これは日経奨学生だけのメリットです。

セミナーはエントリーシートの作成から各種選考の対策まで徹底指導します。就職活動での日本経済新聞の活用方法や奨学生としての経験を活かす方法など、奨学生の皆さん向けに特化した内容です。

日経育英奨学会理事長の

推薦状を 発行します。



みなさんの就活にあたり希望者には「学業と仕事を両立し、奨学生生活を成し遂げた」ことを証する、日経育英奨学会理事長の推薦状を発行します。

POINT 1 ES・面接対策

POINT 2 ビジネスマナー指導

POINT 3 日経ニュース、経営分析に基づいた企業研究

POINT 4 志望企業に関連した ニュース解説

POINT 5 マンツーマンの 手厚いサポート

HPにはセミナーを受講した学生さんのインタビュー動画もあります。そのほかにも、エントリーシート添削、グループディスカッション講座、面接対策など多様なセミナーを開催しています。



奨学生生活をしながらの就職、たくさんのサポートがあるといっても不安や疑問はあると思います。そんな不安や疑問に、実際に奨学生生活をしながら内定を勝ち取った先輩たちが答えます。



Q 新聞奨学生の経験は就活に活かされましたか？

A 大いに活かされました。奨学生生活で身に付けた忍耐力や責任感、社会人としての心構えは大きな財産であると共に強い武器になりました。

Q 仕事と就活を両立する際、工夫したことはありますか？

A タイムマネジメントを徹底しました。社員の方々にスケジュールを早期に伝えることで休みの調整等お店の協力を得ながら内定を勝ち取ることができました。

Q 就活セミナーではどのようなことを行いましたか？

A 私が参加した回では面接について、プロの講師の方から内容はもちろん、表情や姿勢、話し方など細かな点までみっちり指導を頂きました。たくさん練習したからこそ、面接本番で自信を持って自分の思いを伝えることができました。

Q 奨学生をしながらでもインターンシップに参加できますか？

A インターンシップには多くの種類があります。半日や1日のインターンシップであれば十分参加可能でした。また、OB・OG訪問など配達の合間でもできることはたくさんありました。



小川 紅弥さん

おがわ あかね (NSN田町)
東洋大学 経営学部 経営学科
茨城県 日立北高等学校出身

奨学生生活で培った経験が就活で役立ちました!!

小川紅弥さん (NSN 田町) は新聞奨学生としての仕事と、東洋大学での学生生活を4年間両立し、この春から晴れて社会人となりました。

1 日経育英奨学会を選んだ理由を教えてください。

日経育英奨学会は集金業務やセールスがなく、しっかりと自分の時間が持てると感じたからです。

2 4年間の奨学生生活で得たものを教えてください。

根性や忍耐力です。4年間の両立生活は簡単なものではなく、正直大変だと思うことも多々ありました。しかし、NSNの一員として学業と仕事の両立を成し遂げたことで誰にも負けない根性と、そして自信を得ることができました。

3 内定先を選んだ決め手を教えてください。

4年間の配達の中で、読者の方からの「いつもありがとう」「がんばってね」という言葉にとて励まされてきました。その経験からお客様と距離が近い職に就きたいなと思うようになりました。また、デスクワークよりも動き回れるような仕事が自分には合っていると思い、内定先の企業を選びました。

4 時間が限られる中、自分にあう会社を見つけるために工夫したことがあれば教えてください。

どうしても時間が限られているので、3年生までにしっかりと必要単位を取り、4年次には就活に十分な時間が割けるようにしました。また、スケジュールと時間管理を徹底し、仕事の合間を縫って面接を行うなどすきま時間を無駄にしないようにしました。

5 これから新聞奨学生を志望する学生さんにエールをお願いします。

自由に使える時間や授業の取り方など、新聞奨学生は他の学生と比べると我慢しなければいけないことが多いかもしれませんが、頑張っていることは必ず誰かが見ていてくれますし、ちゃんと評価してくれる人がいます。自分自身を信じるのが大切です。最後まで走り切りましょう!!

保護者の皆様へ

日本経済新聞育英奨学会のパンフレットをご覧ください。
だきましてありがとうございます。

発足後、半世紀以上の歴史を持つ日経育英奨学会では、学生さんに安心して進学していただけるように、下記の制度をご用意しております。

①奨学金は無利息で貸与され、卒業時に返済免除となります。

※奨学金の借入れが免除額を超える場合は卒業時に一括返済となります。

②部屋はすべて個室で無料です。

③給与は毎月固定給で、生活に困ることはありません。

他の奨学金制度や教育ローンは、原則在学中または卒業後に返済が必要となります。

数百万円の返済金を抱えて社会に出るかたちになりますので、昨今の授業料高騰と世界的情勢による非正

規社員の増加等で奨学金を返還する余裕がなくなり、結果的に返済不能となるケースも多く、社会問題になりつつあります。

※延滞者15万7000人。訴訟約5,500件。(H31.2 学生支援機構)

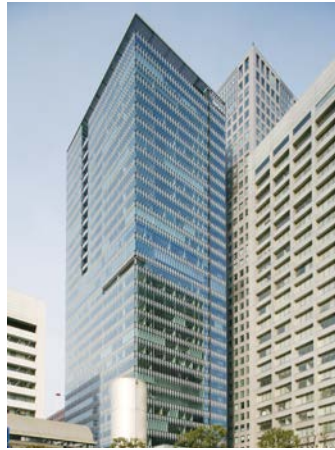
日経育英奨学制度は、新聞配達業務をしていただくことで奨学金の返済を免除しますので、卒業後に数十年をかけて返済する必要はありません。

加えて、部屋代無料、給与は固定給など、在学中も金銭面で不安を感じることなく生活ができます。

進学に向けて、お金の問題は重要です。さまざまな奨学金制度、教育ローンがありますが、学生さんにとって在学中そして卒業後を見据えて最良の制度をご選択いただきますようお願い申し上げます。

日本経済新聞育英奨学会

世界最大級の経済紙「日経」をベースに 奨学生本位の制度を実現しました。



日本経済新聞社東京本社

「日経」は世界最大級の経済紙、質の高い読者層を誇ります。

「日本経済新聞」は世界中が注目する経済大国、日本の経済ジャーナリズムの中心的存在です。明治9（1876）年の創刊から144年、経済の視点を主に、政治、社会、文化、生活情報にいたるまで、独自の報道姿勢を貫いてきました。

現在、新聞と電子版を合わせた購読数は約275万件。米国の「ウォールストリート・ジャーナル」や英国の「フィナンシャル・タイムズ」を

大きく上回る世界最大級の経済紙として広く知られ、朝一番に「日経」に目を通すことがビジネスマンの必須条件といわれるほど、日本経済新聞が提供する情報には確かな信頼が寄せられています。

日本経済のプレーンとして、これからも質の高い読者の期待に応え、価値ある情報を発信し続けること。それが「日経」のモットーです。

奨学生本位の姿勢から入会者は口コミで増え続けています。

家庭で新聞に目を通すことは、日本では当たり前の習慣だと考えられています。そして、宅配制度により維持されているこの習慣を支えているのが、新聞奨学生のみなさんです。

日本経済新聞社は、昭和43（1968）年に日本経済新聞育英奨学会（日経育英奨学会）を発足。「奨学生のみなさんが安心して、勉強と仕事を両立させながら、かけがえのない青春の一時期を充実して過ごしてほしい」と願い、積極的に制度の改善に努めてまいりました。

どのNSNに入店しても格差を感じることなく、安心して勉強と仕事が両立できるようNSN間で同一の就業規則を制定。さらに「学費全額貸与」「集金なし」「全NSN完全個室」という日経育英奨学会ならではの充実した制度と設備を実現しています。

「日経」は奨学生本位。その姿勢を実証するように、日経育英奨学会への入会者は先輩から後輩へ口コミで増え続けています。

首都圏を中心に広がる NIKKEI のネットワーク。

日経ネットワークは首都圏（埼玉・神奈川を含む）のNSNで構成され、大勢の社員と奨学生が活躍しています。



私たちNSNはクローバープロジェクトを通じ社会に貢献しています。

「ささやかな気持ち」が「命を守る」ことにつながる。このよろこびを皆様とともに。



ペットボトルキャップ回収活動

ペットボトルキャップ800～860個でポリオ（小児麻痺）ワクチン1本分になり、子どもたちへの予防接種を可能にします。昨年NSNでは1,539,830個のキャップを回収し、1,791名分のワクチンを届けることができました。



使用済切手回収活動

使用済切手は世界各国の収集家が購入します。換金された代金は貧困国への医師や看護師の派遣や医療従事者への学費援助等に役立てられています。昨年NSNでは、8.6kgの使用済切手を回収することができました。

日経育英奨学会への入会をお待ちしています。

可能性に挑戦！
充実した日経の奨学制度で
夢を実現しよう！

日本経済新聞育英奨学会理事長

真崎 洋一



日本経済新聞育英奨学会の歴史は古く、今年で53年をむかえました。毎年数多くの入会申込みをいただき、おかげさまで今では東京地区で奨学生数が最も多く、女子学生もたくさん在籍しています。

私自身、日経の奨学生出身者です。東京の大学に進学を希望していたのですが、住まいが福岡ということで躊躇していたときに新聞奨学金制度を知り、各社を比較検討して日経奨学会を選び勇躍上京しました。土地勘もなく友人もいないために不安もありましたが、専売所には同じ目標を持った仲間が多く、すぐに意気投合して家庭的雰囲気のない無事に卒業することができました。雨の日や風の日、雪の日もあり、初志を忘れがちになりましたが、辛さに打ち勝って克己の根性を養うのだと都度奮い立たせました。私にとって新聞配達は得難い人生経験であり、日経奨学会を選んで良かったとつくづく思っています。

日経育英奨学会は奨学生のみなさんが安心して勉強と仕事を両立させ、充実して過ごすことができるように、積極的に制度の改善を進めてきました。その結果、『学費全額貸与』『4週6休制』『集金・セールス一切なし』『全NSN完全個室』『全NSNシャワールーム・シャワートイレ完備』『全室にエアコンまたはクーラー完備』という、日経奨学会ならではの充実した制度と設備を実現しました。さらに、店間の格差を感じることなく、安心して勉強と仕事が続けられるよう、全NSNが同一の『就業規則』『寮・社宅規則』を制定し実行しています。こうした充実した環境のもと、これまで多くの奨学生が自分の力で進学の夢を叶えてきました。

ぜひ定期的に行われるWeb制度説明会に出席し、体験入店や販売店見学制度も利用して、ご自分の目で仕事内容や生活環境を確認することをお勧めします。

どうぞ安心して日経奨学会に応募してください。そしてみなさんの初志を貫徹してください。

日経奨学会が全面的にバックアップします。

将来の夢に踏み出す皆さまを
全力で後押しします

日本経済新聞育英奨学会名誉理事長
日本経済新聞社東京本社販売ユニット長

柳原 正典



1876年に創刊した日本経済新聞は「中立公正」をモットーに、経済を中心とした質の高い情報を読者の皆さまへ日々お届けしています。新聞と電子版を合わせた購読数は約275万と、経済紙としては世界最大級であり、経済情報のリーディングメディアとして国内外より高い評価をいただいております。

日本経済新聞育英奨学会は1968年に設立され、これまでに1万5千人を超える卒業生を輩出してきました。本年は昨年に続き、残念ながらコロナウイルスの影響でリアルでの修了式がかなわず、オンライン形式での開催となりましたが、卒業生の皆さまの今後のご活躍をお祈りしています。

日経奨学会は設立以来「勉強と仕事の両立・経済的自立」の支援を目的に、奨学生制度の拡充に努めてきました。今後も奨学生の皆さまが将来の夢に向かって力強い一歩を進めるための環境整備に力を尽くしてまいります。

勉強と仕事の両立は簡単なことではありません。入会を決意された皆さんは、親元を離れ、数多くの仲間や先輩たちと「勉強と仕事の両立・経済的自立」について考え、行動を起こし、多くの経験を積むことになります。自ら考え行動することにより、精神的自立という成長を遂げられることと思います。また同世代の多くの奨学生の仲間たちとの集団生活は、規則正しい生活習慣や社会性を身につけることができ、実社会に出るための人間形成という点からも有意義な経験になるのではないのでしょうか。育英奨学生としての一つひとつの経験が、皆さんの将来の夢を実現するための大きな後押しになれば幸いです。

日本経済新聞育英奨学会はあなたが描いている「夢」への第一歩を、安心して踏み出すことができるようサポートいたします。同じように夢に向かって進む仲間や先輩たちと一緒に頑張りましょう。皆様のご入会を心からお待ちしております。

奨学生ライフ Q&A

奨学生になる前に知っておくと役立つNSNでの日常生活の知恵やマナー、早く仕事に慣れるためのコツなどを、わかりやすく説明します。「奨学生ライフQ&A」は、君たちのNSNでの生活をサポートする先輩奨学生やNSNの所長さん、日経育英奨学会からの激励メッセージでもあります。



QUESTION 1

仕事はすぐに覚えられますか？

最初だけは配達先を覚えるのに苦労するかもしれませんが、でも、NSNの社員さんや先輩がいてねいに教えてくれますし、「順路帳」があるから心配は無用です。1か月もすれば配達時間は一気に短縮できるでしょう。そうなると、頭で考えなくても、体が自然に動いてくれます。そして半年過ぎれば、すっかりベテランになっている自分自身に気づくはずですよ。

QUESTION 4

奨学生の生活はどのようなものですか？

起床時間が平均で午前3時前後というのは、ほとんどの人にとって初めての経験になるはず。奨学生がつとまるかどうか不安になるのは当然のことです。でも、いま活躍している先輩たちも同じ心配や不安を抱えながら奨学生生活をスタートしたのです。だから、きっとあなたも大丈夫。住むところも、食事も、通学校も生活環境のすべてが変わりますが、1日でも早く慣れて、仕事を覚えてください。好スタートをきることが、最後まで続けるなによりも大切なポイントになります。

QUESTION 6

配達部数は何部ですか？また配達時間はどのくらいかかりますか？

配達部数はすべての奨学生に共通して何部という決め方はしていません。朝夕刊と付随業務を合わせて1日5時間程度を基準に、たとえば事業所（会社）が密集している地区では配達区域は狭く部数を多めに、また住宅地区では配達区域は広く部数を少なめにというように、区域によって部数を調整しています。

QUESTION 2

日経は4週間で6日の休みがもらえると聞いています。休日について具体的に教えてください。

集金なしで「4週6休」は日経の特長です。日経では、奨学生のみなさんが安心して働けるよう、全NSNが同じ労働条件（統一制）を決めて、全NSNが足なみを揃えて（統一実行）います。なかでも奨学生のみなさんが勉強と仕事を両立させるために必要不可欠な条件のひとつとして「4週6休」の休日制度を導入しています。たとえば、授業が夕刊の配達時間に重なってしまう場合などに、NSNに相談のうえ、休日を調整してもらうことも可能です。

QUESTION 5

予備校や独学でも利用できますか？また夜間（2部）や通信制の場合も奨学生になれますか？

奨学生の通学校は主に大学と専門学校ですが、受験に失敗しリベンジをきして予備校生や独学生として入会する人もたくさんいます。その場合は1年制コースに登録することで、貸与学費が100万円までは返済義務が発生しません。もちろん予備校にかかる学費は全額奨学会から借りることができますし、独学生の場合は学費がかかりませんから、1年修了時に60万円の報奨金が支給されます。「日経」は夜間（2部）の学生や、通信制に通う大学生も歓迎します。夕刊の配達終了時刻が早いNSNへ配属をすることで、夜間（2部）や通信制の大学への通学が可能です。



QUESTION 3

奨学生は女子にもできますか？

女子の奨学生が多いのは「日経」の大きな特長です。日経育英奨学会には毎年多数の女子が入会します。奨学金や給与はもちろん男子と同じ条件。1カ所のNSNに女子が原則2人以上になるように配慮されていますから、心細いこともありません。体力に自信がなくても慣れてくれれば大丈夫です。

QUESTION 9

病気やケガをしたときは？

全NSNでは、春と秋に定期健康診断を実施しています。さらに、健康管理や交通安全を徹底し、奨学生のみなさんの病気やケガの予防に努めています。それでも、病気やケガをしてしまったら、日経は代わって配達してくれるシステムになっています。保険制度も完備されていて、業務中のケガには労災保険が適用されます。さらに、日本経済新聞従業員厚生福祉会に全店が加入しているので業務内外問わず通院費、入院費が支給されます。業務外のケガや病気はご自身で加入される国民健康保険を使用します。

QUESTION 11

奨学生が住む部屋に机や椅子などがありますか？シャワーや洗濯機は自由に使えますか？

奨学生は全員プライバシーが守られる個室に入ることができます。部屋の広さは4畳〜6畳程度。広くはありませんが、勉強して寝るスペースは十分に確保されています。机や椅子は卒業していく先輩奨学生が残しておいてくれるケースも多く、なければNSNの近隣のホームセンター等で購入するか、自宅が近ければ運び込むこともできます。全NSNにシャワー室を完備していますが、使用時間帯が設定されています。洗濯機の使用も同様です。

QUESTION 12

バイク（原付）の免許は取得しておいたほうがいいですか？

配達には主にバイク（原付）を使用します。地域によっては自転車もありますが、奨学生のみなさんの効率を考えるとバイクを使用するところがほとんどです。バイクの免許取得が奨学会の入会条件ではありませんが、免許を取得しておくことをおすすめします。



QUESTION 10

募集の締め切り日はありますか？

具体的な締め切り日は設定していませんが、募集定員になり次第終了となります。一次審査から三次審査まで時間がかかります。志望校の段階でもかまいませんのでお早めに申し込みください。



QUESTION 13

奨学生生活で何か禁止されていることはありますか？

お客さまに接することがあるので、茶髪やタトゥー、ピアスなど不快なイメージを与えるものは禁止です。部屋に人を呼ぶことや、他のアルバイトなどをすることも禁止です。



NSN 所長からのメッセージ

「自立したい!」という志を、日経育英奨学制度で実現してください。

勉強と仕事の両立を可能にする日経ならではの奨学制度のポイントは、「集金なし」「4週6休」「完全個室にエアコンまたはクーラー完備」などがあり、奨学生本位の制度が充実しております。とはいえ、働きながら学ぶ奨学生の道は決して平坦とはいえません。その道を走りぬくためには、夢や目標を強くもつことが大切です。

みなさんは初めての自立生活に不安を感じているかもしれませんが、それぞれのNSNでは、私たち所長や社員はもちろんのこと、先輩奨学生たちが仕事から日常生活まで、全面的にサポートします。

私も日経の新聞奨学生として大学を卒業しました。「自立したい!」という志を、この日経育英奨学制度で実現してください。



NSN 蒲田
今田 旭洋 所長



業界用語集

NSNで仕事をする前に知っておきたい「業界用語」があります。しっかり覚えておきましょう。 ※個人情報に関わるものは取扱いに十分注意する必要があります。

不 着

新聞が読者の元に届かないこと。奨学生として一番気を付けなければいけないことです。一度のミスでもお客さまとの信頼関係が崩れることもありますので、責任感をもって配達業務を行ってください。

順路帳

各区域の1軒目から最後のお客さままでのルートを確認できる帳票。順路記号や建物名、氏名、配達指定時間や場所が書かれた大切なもの。

増減簿

毎日の『入り』（新しく新聞を配達すること）、『止め』（配達が終わること）の読者の住所・氏名を記入する帳簿です。読者管理に必要なものです。

中 継

バイクや自転車に積みきれない新聞を、決まった場所まで運ぶこと。

入会の手続き

日経育英奨学会の申し込みから入店まで



STEP 1

一次審査 入会申込書郵送

日経育英奨学会のパンフレットにとじこまれた入会申込書に記入捺印の上、郵送してください。
一次審査合格者には日経育英奨学会より「二次審査書類一式」をお送りします。

資格

平成4年（1992年）4月2日以降、平成16年（2004年）4月1日以前に生まれた方、朝・夕刊の新聞配達と付随業務ができること。

注1）学校・学科によって授業時間や通学時間の都合で受け付けできない場合があります。

注2）入学する学校が決定してからのお申し込みは、定員の関係上断りする場合がありますので、志望校が決まり次第、すみやかに入会申込書をお送りください。

注3）写真を必ず貼付してください。

注4）キャンセルの場合は必ず日経育英奨学会までご連絡ください。

※提出された申込書はお返ししません。

Webから入会申込ができるようになりました。
スマホ1つで申込まで完結できます。
HPのWeb入会予約をクリック！



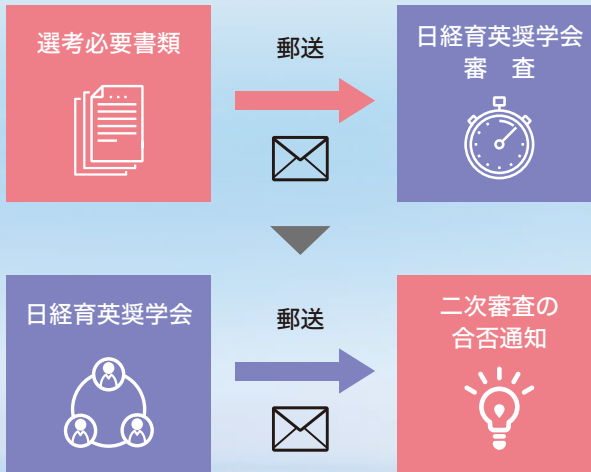
STEP 2

二次審査 書類選考

選考に必要な書類（下記の①～④または⑤）を日経育英奨学会所定の返信用封筒にて郵送してください。二次審査の結果は、日経育英奨学会より書面にて可否をお伝えします。

郵送書類内容

- ①日本経済新聞奨学生台帳
同封した記入例を参考に記入もれのないようにしてください。
※写真を必ず貼付してください。
- ②健康診断書（日本経済新聞奨学生台帳裏面）
健康診断書は郵送日より3か月以内に受診されたものに限りです。
※必ず日経育英奨学会規定の診断書を使用してください。
- ③保証人の印鑑登録証明書
- ④連帯保証書
- ⑤親権者の承諾書（申込者が未成年の場合）
※提出された選考必要書類はお返ししません。
※その他、別途書類が必要となる場合があります。

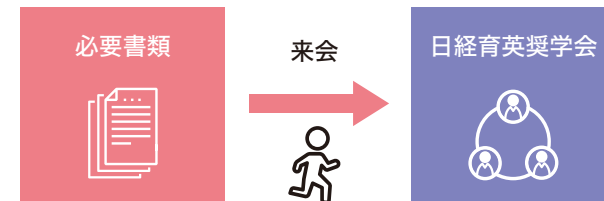


※志望校を変更した場合は、すみやかに日経育英奨学会までご連絡ください。
適用校かどうかの確認をします。
※二次審査合格者を対象に受験宿舎（NSNの寮）を無料で提供します。詳しくは日経育英奨学会にお問い合わせください。

STEP 3

三次審査 面接、通過後入会手続き

前もって予約していただいた日時に、奨学会へ来会してください。三次審査（面接）合格者は、そのまま入会手続きを行いますので、下記の必要書類（①～⑤）を忘れずにご持参ください。



持参書類

- ①新規通学校の納付書（振込用紙）や入学手続き要項（卒業までの学費がわかるもの）
 - ②本人の住民票、または住民票記載事項証明書
 - ③高校発行の進学用調査書（現役生のみ）
 - ④証明写真1枚 [たて5cm×よこ4cm]
（奨学生台帳以外でスタッフカード用として必要です）
 - ⑤本人の認印 ※スタンプ印不可
- ※②、③、④は3か月以内に発行・撮影されたものに限りです。
注1）入会手続きは、必ず本人が行ってください。
注2）必要書類がそろっていない場合は、学費を貸与できません。

手続きの際に通学校の学費（入学金、授業料など）を貸与します。
注1）選考料、教材費（教科書、テキスト代など）、寄付金など貸与できないものがあります。
注2）入学金、授業料には納入期限がありますので、注意してください。
注3）自分で学費納入の手続きを終了している場合は、納付金の領収書、保護者または本人の振込口座のわかるものを持参してください。

※持参された必要書類はお返ししません。

情勢により審査の流れが変更となる場合があります。

入店、奨学生生活のスタート！

- 勉強と仕事の両立がスムーズに行えるように、3月初旬から中旬までの入店をおすすめします。
- 入店時の赴任旅費は奨学会の規定による金額を、入会手続き時に支給します。
- 入店時にユニフォーム（ブルゾン、ポロシャツ）、レインウェア、ヘルメット（バイク区域のみ）が貸与され、身分証明書（NSNスタッフカード）が発行されます。
- 法律により、入店時にマイナンバーを配属先の所長にご提示ください。

東京地区のお申し込み・お問い合わせ

入会希望の方は、入会申込書に必要事項を記入の上、投函してください。入会申込書は記入もれのないようにお願いします。
説明会・日経育英奨学制度についてのご相談、お問い合わせは「日経育英奨学会事務局」までお電話ください。

☎0120-00-5725

- フリーダイヤルご利用時間：月曜日～土曜日・9:30～17:30
- ご利用にあたって、次の点をあらかじめご了承ください。
①呼び出し音が聞こえるまでに10秒ほど時間がかかります。
②海外からは利用できません。
③0発信の内線電話はご利用できない場合があります。
④携帯電話からもお問い合わせできます。
- 日経育英奨学会は日曜・祝日・年末年始がお休みです。
- メールでのお問い合わせもできます。

syougakukai@nikkei-ns.com

※受信制限をしている方は、「nikkei-ns.com」を指定受信設定してください。

SMS（ショートメッセージサービス）についてのお知らせ
説明会等のお知らせのため、SMS（ショートメッセージサービス）の配信をさせて頂いております。SMS受信時に表示される番号は、受信側のキャリアにより表示が異なります。

[ソフトバンク/Y! mobile] → 21061

[上記以外] → 050-5213-0951

※SMSの受信料は無料です。
※SMSは送信専用です。ご返信頂くことはできません。
※個人情報等をSMSでお聞きすることはありません。
※SMSを受信された方でお心当たりがない場合には、メッセージを削除下さいますようお願いいたします。

北海道札幌地区のお申し込み・お問い合わせ

北海道札幌地区のお申し込み
（日本経済新聞育英奨学会は、北海道新聞奨学会と提携しています）
「北海道新聞奨学生事務局」までお問い合わせください。
〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目

☎0120-040-430

*北海道札幌地区と東京地区は受付が別となりますので、直接お申し込み・お問い合わせください。